

東京都立大学 法科大学院

2025年度入学者選抜試験問題 出題趣旨（3年履修課程）

小論文

東京都立大学法科大学院では、複雑な社会現象に高い関心を示し、それを的確に把握したうえで分析・判断するための論理的思考力を有するとともに、それを的確に表現することができる学生を求めている。

2024年（2025年度入試）に実施した法学者未修選抜では、佐野亘「合意形成」佐野亘＝山谷清志監修『これからの公共政策学①政策と規範』（ミネルヴァ書房、2021年）155頁～175頁を素材とした。受験者には、①広範な合意のひとつとしての、重なり合う合意の特徴及び意義を説明すること、②重なり合う合意と対比させながら、合意のひとつである妥協について、固有の意義を説明することを求め、それらにかかる整理や分析を時間・分量の制約の中で過不足なく表現することができるかを問うた。

以上